

第5期「人勢塾」

人材の多様性をデザインする創造的実践

Creative practices for designing diversity management

セッション1 ダイバーシティ戦略と組織の文化を考える

| | |
|-------|--|
| 開講日時 | 2013年9月21日(土) 14:00~18:00 終了後懇親会 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 平野 光俊 |
| ゲスト講師 | 法政大学経営学部 准教授 小川 憲彦氏 株式会社ディスコ 経営企画室 貝沼 知徳氏 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 概要 | |
| | <p>事前に読んでいただいた文献の復習を兼ねて、組織文化論について簡単にレクチャーを行います。その上で、組織文化概念の応用ツールとして、株式会社ディスコと共同開発した組織文化測定診断アプリ Value Fitter (VF)を紹介しします。実際にVFを実施してもらい、結果を踏まえて相互に議論してもらうことを通じて、自社文化の理解を進めると同時にその課題についても考えてもらう予定です。</p> |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| | <p>14:00-14:30 インTRODクシヨン(平野教授)</p> <p>14:30-15:30 組織文化論の概説</p> <p>15:30-16:30 Value Fitter (VF) エクササイズと解説</p> <p>16:30-17:50 グループ・ディスカッション</p> <p>17:50-18:00 セッション振り返りと総括</p> <p>※セッション終了後、懇親会を予定しております</p> |
| グループ討議 | |
| | <p>課題については当日提示します。</p> |
| 課題図書 | |
| | <p>E.H.シャイン(著)、金井壽宏・尾川丈一・片山佳代子(訳)(2004)『企業文化ー生き残りの指針』白桃書房</p> |
| コピー配付資料 | |
| | <p>佐藤郁哉・山田真茂留(著)(2004)『制度と文化 組織を動かす見えない力』日本経済新聞社 1-2 章</p> |
| 事後課題 | |
| | <p>今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。</p> |

セッション2・3 クリエイティビティを開発しようー創造性ワークショップへの誘い

| | |
|-------------|---|
| 開講日時 | 2013年10月5日(土) 10:30~18:00 2013年10月6日(日) 9:00~12:00 |
| 会場 | スペースアルファ神戸 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 高橋 潔 神戸大学大学院経営学研究科博士課程 碓 邦生 |

| 概要 | |
|------------------------------|--|
| 概要 | <p>現代のビジネスシーンでは、イノベーションとクリエイティビティが、競争力を高めるためにもっとも必要な要素だと考えられています。クリエイティブな発想があれば、新たなイノベーションを生み出すことができ、世界のどこにいてもビジネス上の成功に近づくことができます。今回は、皆さんの創造性を高めていくために、合宿を伴ったワークショップ形式で行います。まずは、頭の準備体操のつもりで、個人ワークによる創造性の課題を行います。ただし、創造性の多くは、他の参加者と協力するグループワークで生み出されるもの。続いて、実践的なグループワークを通して、創造性溢れるアイデアの出し方をトレーニングしていきます。創造性にとって重要な、数多くのアイデアを出す「拡散的思考」と、アイデアとアイデアを結合し、一つの優れたアイデアを導き出す「収束的思考」を体感してもらうことを目的としています。</p> |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| 1日目 | <p>10:30-11:30 個人ワーク①「創造的ビジネスプラン策定」</p> <p>11:30-11:40 休憩</p> <p>11:40-12:15 講義「創造性の考え方」</p> <p>12:15-13:15 昼食</p> <p>13:15-15:15 グループワーク①「拡散的思考課題」</p> <p>15:15-15:30 休憩</p> <p>15:30-17:30 グループワーク②「収束的思考課題」</p> <p>17:30-17:40 休憩</p> <p>17:40-18:00 1日目のまとめ</p> <p>18:00-19:00 夕食</p> <p>※夕食後の懇親会については、当日あらためてアナウンスします</p> |

| | |
|----------------|--|
| 2 日目 | <p>9:00-10:30 グループプレゼンテーション「収束的思考課題」</p> <p>10:30-10:40 休憩</p> <p>10:40-11:30 個人ワーク②「創造的ビジネスプラン策定」</p> <p>11:30-12:00 全体のまとめ</p> |
| グループ討議 | |
| | <p>皆さんのクリエイティビティをアップするために、グループワークを実施します。特に事前準備をしていただく必要はありませんが、できるだけ頭を柔らかくしてきてください。</p> |
| 課題図書 | |
| | <p>ティナ・シーリグ(著)、高遠裕子(訳)(2010)『20歳のときに知っておきたかったこと—スタンフォード大学集中講義』阪急コミュニケーションズ</p> <p>開本浩矢・和多田理恵(著)(2012)『クリエイティビティ・マネジメント—創造性研究とその系譜』白桃書房</p> |
| コピー配付資料 | |
| | <p>高橋潔・堀上明(2013)「創造性の現状と課題—思考三位一体理論の挑戦」『Business Insight』No.81, 4-9.</p> <p>開本浩矢・和多田理恵(2013)「創造性研究の系譜とその課題」『Business Insight』No.81, 10-17.</p> |
| 事後課題 | |
| | <p>今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。</p> |

セッション4 ポジティブアクションー働き方と暮らし方の調和を考える

| | |
|-------|--|
| 開講日時 | 2013年10月19日(土) 14:00~18:00 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 平野 光俊 |
| ゲスト講師 | TAI 働き方研究所 代表(元 帝人 CSR 企画室長 女性活躍推進室長) 田井 久恵氏 |

| 概要 | |
|------------------------------|--|
| | <p>ジェンダー格差に関する日本の現状を把握した後、ダイバーシティマネジメントの考え方および日本企業が女性活躍推進に取り組む意義を考察する。</p> <p>次いで、10年以上にわたり女性活躍推進を進めてきた一企業の事例(施策の内容、活動の成果と課題)を紹介し、ポジティブアクションの有用性とワーク・ライフ・バランス施策が職場管理に及ぼす影響について、グループ討議を通じて理解を深める。</p> <p>最後に、女性活躍推進の真のゴール(仕事と暮らしの好バランスを実現できる職場環境にあり、キャリアに対して高いモチベーションを持つ社員集団によって実現される、企業の持続可能な成長)を確認する。</p> |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| | <p>14:00-15:15 講義「ダイバーシティマネジメントの考え方と企業での実践事例」</p> <p>15:15-16:00 講義「ポジティブアクションの課題」(平野教授)</p> <p>16:00-17:30 グループ討議(ポジティブアクションとワーク・ライフ・バランス施策が職場管理に及ぼす好影響と課題について)</p> <p>17:30-18:00 まとめ</p> |
| グループ討議 | |
| | 職場の現実に応じたケース(複数)を使って行う予定。ケース内容は当日提示します。 |
| 課題図書 | |
| | <p>山口一男・樋口美雄(編)(2008)『論争 日本のワーク・ライフ・バランス』日本経済新聞社</p> <p>辻村みよ子(著)(2011)『ポジティブ・アクションー「法による平等」の技法』岩波新書</p> |
| コピー配付資料 | |
| | 田井久恵「帝人における女性活躍推進」(仮題) 奥林康司・平野光俊(編著)『多様な人材のマネジメント』(仮題)中央経済社(2014年1月刊行予定) 原稿 |
| 事後課題 | |
| | 今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。 |

セッション5 グローカル経営とリーダーシップ

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開講日時 | 2013年11月9日(土) 14:00~18:00 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 平野 光俊 |
| ゲスト講師 | ラーニングワークス・インターナショナル 代表 光富 敏夫氏 |

| | |
|---|---|
| 概要 | |
| | <p>これからは世界企業ではなく、世界に在る企業という Globalization と Localization をうまく両立させるグローバル経営が求められます。</p> <p>このセッションでは、まず日本企業の国際化、グローバル化、グローバル化の発展段階の歩みと多国籍企業の運営形態、グローバル経営の要件などを確認します。</p> <p>次に、グローバル経営で求められる経営のリーダーシップを事前課題の事例や課題図書を通じて学びます。さらにグローバル経営に向けて人事部門や経営企画部門は何を行うべきかを議論していきます。</p> |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| | <p>14:00-14:10 イン트로ダクション(平野教授)</p> <p>14:10-15:00 講義と議論(グローバル企業への発展段階と経営の成功要件)</p> <p>15:00-15:50 講義と議論(経営のリーダーシップ)</p> <p>16:00-17:00 講義と議論(グローバル経営への人事・企画部門の課題)</p> <p>17:00-18:00 質疑応答</p> |
| グループ討議 | |
| | 事前課題のケーススタディ(海外現法経営者のリーダーシップ) |
| 課題図書 | |
| | 新原浩朗(著)(2006)『日本の優秀企業研究－企業経営の原点 6つの条件』日経ビジネス人文庫 |
| コピー配付資料 | |
| | 講義テキスト |
| 事前課題 ※事前課題「米中の現法経営のケーススタディ」は事前配付 | |
| | <p>ビジネスリーダーの視点で「米国と中国での現法経営のケース」を読んで、自分の意見をまとめてきてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外現法の経営についてケースから皆さんが気づかれたことをまとめてください。 2. 現法経営者としてのビジネスリーダーが発揮すべきリーダーシップまたは行動についてケースから皆さんが気づかれたことをまとめてください。 |

| 事後課題 | |
|------|---|
| | <p>今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。</p> <p>講義で確認できなかったことや追加の質問があれば書いて下さい。後日、光富氏がメールにて返信下さいます。</p> |

セッション6 **タレント・オンデマンド戦略—人材育成vs人材調達のための面接実習**

| | |
|------|----------------------------|
| 開講日時 | 2013年11月30日(土) 14:00～18:00 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 高橋 潔 |

| 概要 | |
|------------------------------|--|
| | <p>人事の辞書には「人材育成」の言葉しかない。わが国の多くの組織では、人材戦略を考えるにあたって、ひとつ覚えのように、人材育成ばかりが強調されてきました。しかし、人材戦略を考えるのであれば、内部からの人材育成とならんで、外部からの人材調達を併せて考えていく必要があります。今回は、人材調達に少し光を当ててみたいと思います。そのとき、人材を募集することと、募集で集まった応募者の中から選抜することを分けて考えます。それによって、募集に力を入れることの長短を考えるとともに、選考にあたって面接に力を入れることの長短を考えます。</p> |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| | <p>14:00-15:30 レクチャー「人材育成と採用選考のトレードオフ」</p> <p>15:30-15:45 休憩</p> <p>15:45-16:45 グループワーク「模擬採用面接評価」</p> <p>16:45-17:20 グループ討議「効果的な面接とは？」</p> <p>17:20-17:30 休憩</p> <p>17:30-18:00 まとめ</p> |
| グループ討議 | |
| | <p>グループワークとして、面接官・面接評価者・応募者の3役に分かれて、模擬採用面接を行います。どの役割にあたるかわかりませんが、その課題を通じて感じたことから、あるべき面接の姿を、グループ討議で明らかにしていきます。</p> |
| 課題図書 | |
| | <p>高岡幸生(著)(2010)『採用を変える 組織が変わる』無双社</p> |

| コピー配付資料 | |
|---------|--|
| | 高橋 潔(2010)「就職・採用活動におけるマーケティング・モデルからの脱却」『国民経済雑誌』202 卷1号, 113-128. |
| 事後課題 | |
| | 今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。 |

セッション7 ネットワークから見たミリタリー・チームワーク

| | |
|-------|---------------------------|
| 開講日時 | 2013年12月7日(土) 14:00~18:00 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| 講師 | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 高橋 潔 |
| ゲスト講師 | ジョージア工科大学 研究員 村瀬 俊朗氏 |

| 概要 | |
|------------------------------|---|
| | グローバル化に伴い、どのように多種多様な人種をチームで活かし、個としての能力を上げるかが問われています。米国国軍もチームワークを非常に重要視し、大量の研究費を大学に投じ研究しています。このセッションでは、チームワークやリーダーシップを、最新のネットワーク理論から考察し、軍やビジネスの事例を通して学びます。さらに、自分がどのようにネットワークを構築、維持しているかエクササイズを通し分析し、それがどのように自分のリーダーシップやチームワークに影響を与えるかをディスカッションします。 |
| タイム・テーブル ※状況に応じて変更になることがあります | |
| | 14:00-14:10 イン트로ダクション |
| | 14:10-16:00 ネットワークから見たミリタリー・チームワーク |
| | 16:10-16:50 自分のネットワーク分析 |
| | 16:50-17:40 ディスカッション |
| | 17:40-18:00 セッションのまとめ |
| グループ討議 | |
| | 今までどのようなチームワークやリーダーシップ像を描き行動してきたかを考察します。セッション前に、自分の経験や知識に基づき、自分にとってリーダーシップやチームワークは何かを考えてきてください。 |

| 課題図書 | |
|---------|---|
| | DAIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー編集部(2009)『協力のリーダーシップ—メンバーの個性を活かすチームワークの技術』ダイヤモンド社 |
| コピー配付資料 | |
| | ハーミニア・イバーラ, マーク・ハンター(著)(2007)「人脈の戦略」『Harvard Business Review』2007年3月号 アレックス・サンシ・ペントランド(著)(2012)「チーム作りの科学」『Harvard Business Review』2012年9月号 |
| 事後課題 | |
| | 今回のセッションでの学びを自社でどのように応用・展開していくか。セッションの感想も含めてまとめて下さい。 |

セッション8 **まとめ:ダイバーシティマネジメントの創造的実践へのコミットメント**

| | |
|------|---|
| 開講日時 | 2014年1月11日(土) 開始時間は企業数による~18:00 終了後、懇親会 |
| 会場 | スペースアルファ三宮 中会議室 |
| コメント | 神戸大学大学院経営学研究科 教授 平野 光俊・高橋 潔・金井 壽宏 |

| 概要 | |
|----------|---|
| | <p>人勢塾最終回では、まとめとして、本塾で学んできたことを素材として、当社ではダイバーシティマネジメントの創造的実践をどのように展開するか、実践のための最初の一步はどのようなものか、自らが発想した新たなアイデアをどのように組織内で試していくかなどについて、皆さんの発表を通じて議論していきます。</p> <p>自分の職場や所属している組織を眺めて、本塾が掲げる「人勢人事」にふさわしい制度や施策、プログラムなどについて、本塾の取り組みから新たに実践し始めたケース、また、本塾から得た知識を活かして今後実践していきたい計画などがありましたら、それについて発表して下さい。</p> <p>「ダイバーシティマネジメントの創造的実践にコミットメントする人勢人事」こそが、これからのわれわれが求めていくフロンティアです。手本やコピー元がないものですが、それだけにチャレンジしがいのある分野です。</p> |
| タイム・テーブル | |
| | 各社ごとに第5期人勢塾での学びをまとめたパワーポイント資料を作成し、プレゼンを行う。詳細については決まり次第ご案内します。 |
| 事前課題 | |
| | 上記の概要に記したように、第5期人勢塾での学びを、どのように組織で実践していくかなど、各社ペアでパワーポイント資料にまとめて、プレゼンできるように準備してください。 |

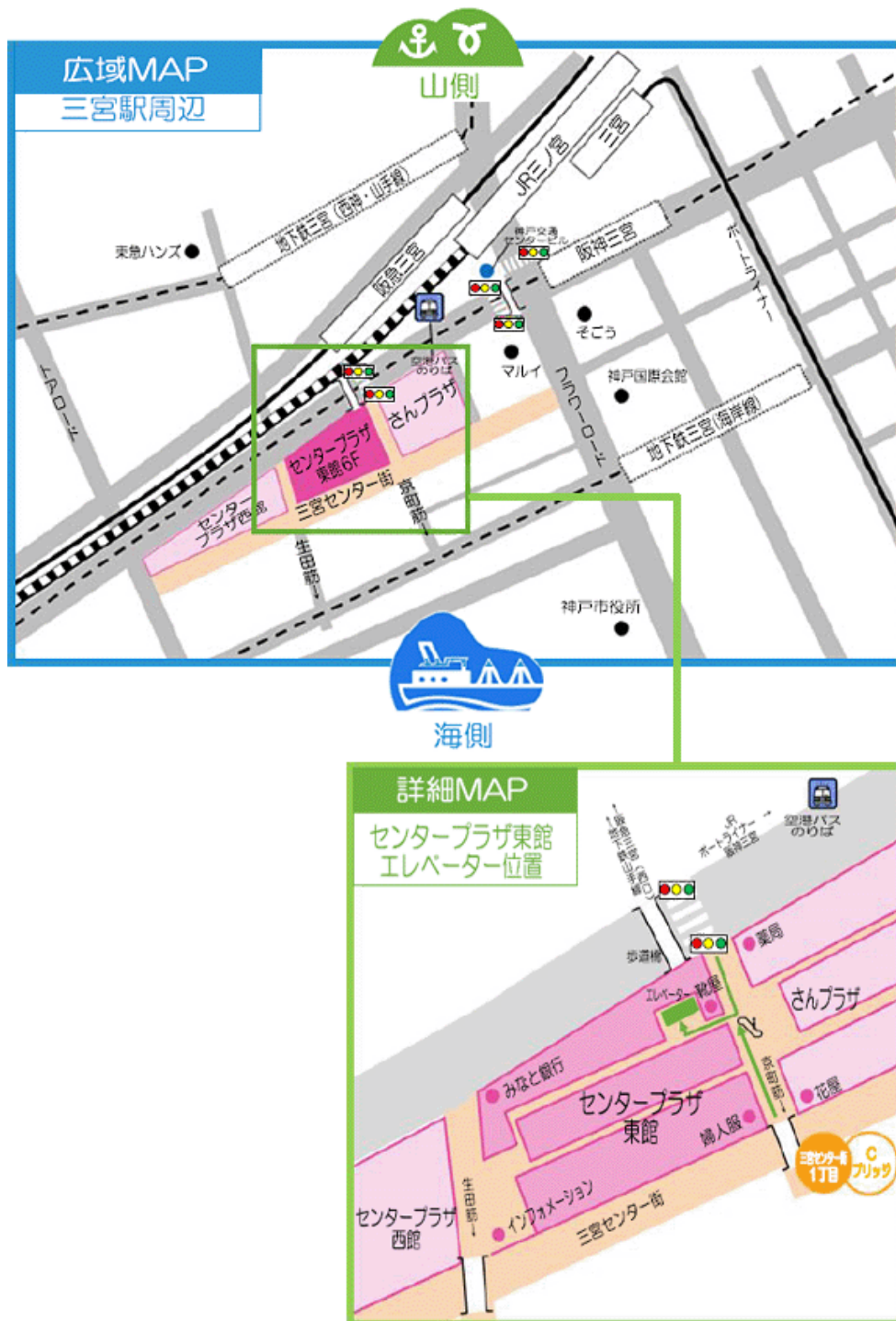
会場のご案内（セッション1、4-8）

スペースアルファ三宮（<http://www.spacealpha.jp/sannomiya/>）

〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館6F

TEL: 078-326-2540

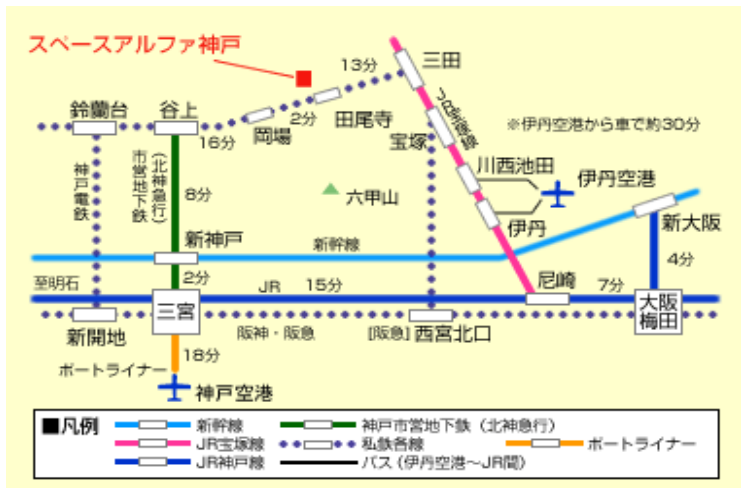
JR 三ノ宮駅、阪急・阪神・地下鉄・ポートライナー「三宮」駅より徒歩約5分



会場のご案内（セッション2・3 合宿）

スペースアルファ神戸（<http://www.sa-kobe.jp/>）

〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台4-27 TEL:078-981-9000



※お車ご利用も可能です。詳細については、開催が近くなりましたら改めてご案内いたします。



NPO法人 現代経営学研究所
Research Institute of Advanced Management

人勢塾事務局担当：山中
〒657-8501 神戸市灘区六甲台2-1
神戸大学大学院経営学研究科第3学舎内
TEL: 078-803-6985
FAX: 078-805-1624
E-mail: bi@riam.jp
URL: <http://www.riam.jp/>